

「あなたなら、どう決断しますか？」

第2回首長のための危機管理セミナーのご案内

1. 開催趣旨

市町村長や危機管理責任者などの行政幹部を対象とした、災害発生前後の24時間（ないしは72時間）に焦点をあてた『首長の決断』を学ぶトップセミナーを開催します。

市町村長が不慣れでシビアな決断を迫られるテーマの一つが災害対応と危機管理です。昨年4月の熊本地震では、2度の震度7の揺れが発生し、多大な建造物の倒壊が起きました。また、昨年7月の台風10号、今年7月の九州北部豪雨でも記録的な降水量により、河川の氾濫と土砂災害が発生しました。いずれも現地ではそれまでに経験のなかった災害であり、首長の危機管理マネジメントのあり方に大きな関心が寄せられました。

本セミナーでは、実際に被災した市町村長にお越しいただき、その経験を聞くと共に、首長や担当者どうしで学び合う場を設けます。知識や技能だけでなく、心構え等も伝え合う機会にするとともに、学識者や省庁メンバーも交えて、より良い対策についても検討します。

第1回目は、熊本地震をモデルケースに「直下型地震災害」をテーマにし、好評を得ました（報告書を参照ください）。第2回は「台風による風水害」をテーマに実施します。

第2回「梅雨前線による河川の氾濫」の開催概要

開催日：平成30年1月26日（金）13:00～17:00 ※その後は希望者で懇親会を行います

場所：日本教育会館 704 会議室（最寄り駅は地下鉄の神保町駅です）

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2831

ゲスト：庵途 典章氏（兵庫県佐用町長）

講師：木下 誠也氏（日本大学危機管理学部教授）、佐藤寿延氏（国土交通省）

2. 実施手法

1) 毎回、過去に災害対応の経験を有する首長（元首長を含む）をスピーカーとして招きます。

2) セミナーは、シナリオ・シミュレーション手法を用いたワークショップ形式で行います。

①4名程度のグループに分かれて、実際に起きた災害の状況を設定して、発災時に首長としてどう判断し、どう行動すべきかを話し合います。限られた機材やマンパワー配置の判断基準、災害時の情報収集の仕方、住民やマスコミ等への情報提供の仕方、避難勧告等決断のタイミング等を具体的に考えます。3つ程度の場면을シミュレーション検討します。

②ゲストスピーカーより被災経験の状況や体験知を伺い、質疑や意見交換をして、グループ検討内容との比較検証を考えます。

③学識者を交え、参加者全体で自由討議を行い、理解を深め、共有化を図ります。

3) セミナーの内容をまとめて、記録集を作成します。

※シナリオ・シミュレーションとは、実際に発生した災害から危機管理上ポイントとなった部分を抜き出し、実際に近い想定で情報提供される中で、参加メンバーで必要な事項、決断について話し合う対応型シミュレーション演習です。2014年にも実施して、参加者からは好評を得ました。

3. 参加対象者

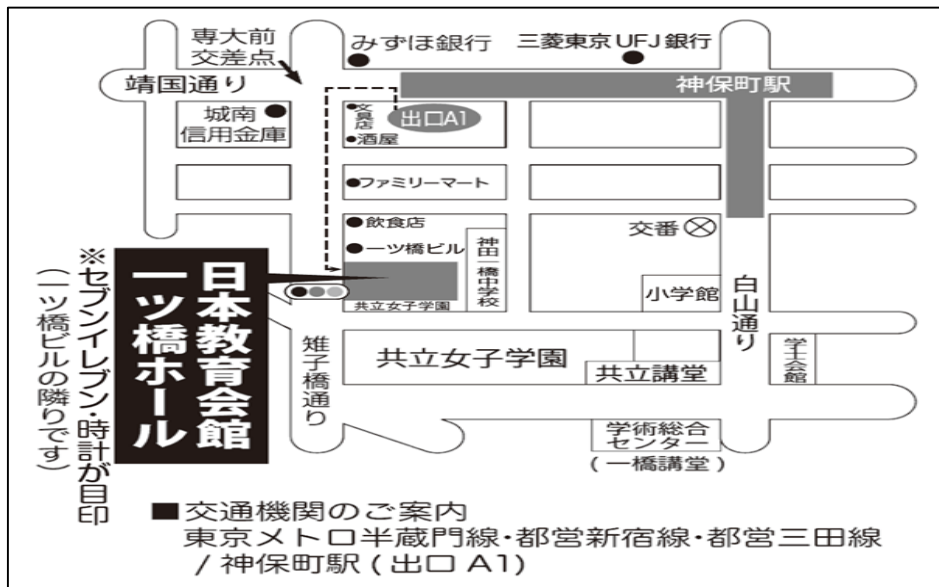
本セミナーは、首長・副首長のグループと、防災担当職員のグループに分かれて、意見交換をしながら理解を深めていきます。首長と防災担当者と一緒に参加されることをお勧め致します。
定員は 24 名です。

4. 参加費

首長及び副首長は 1 回 2 万円、防災担当職員は 1 万円とします。(提言・実践首長会会員は割引あり)

<会場案内図>

場 所：日本教育会館 704 会議室（東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2831）



申込み・問合せ先

提言・実践首長会事務局 特定非営利活動法人 地域交流センター (担当：橋本、中橋)
電話 03-5823-4190、FAX03-5823-4191、hashimoto@jrec.or.jp

返信用紙

返信先 FAX : 03-5823-4191 E-mail : hashimoto@jrec.or.jp (橋本)

セミナー	参加する ・ 参加しない	交流懇親会	参加する ・ 参加しない
参加者名		職位・部署	
参加者名		職位・部署	
参加者名		職位・部署	
連絡先・担当			